

1. 目的

持続可能な公共交通を目指し、地域全体で公共交通を支えていく環境を構築するため、基幹公共交通軸の強化及び住民等への利用促進に向けた取組を行い、悪循環から好循環への転換を図る



▲持続可能な公共交通に向けた転換イメージ

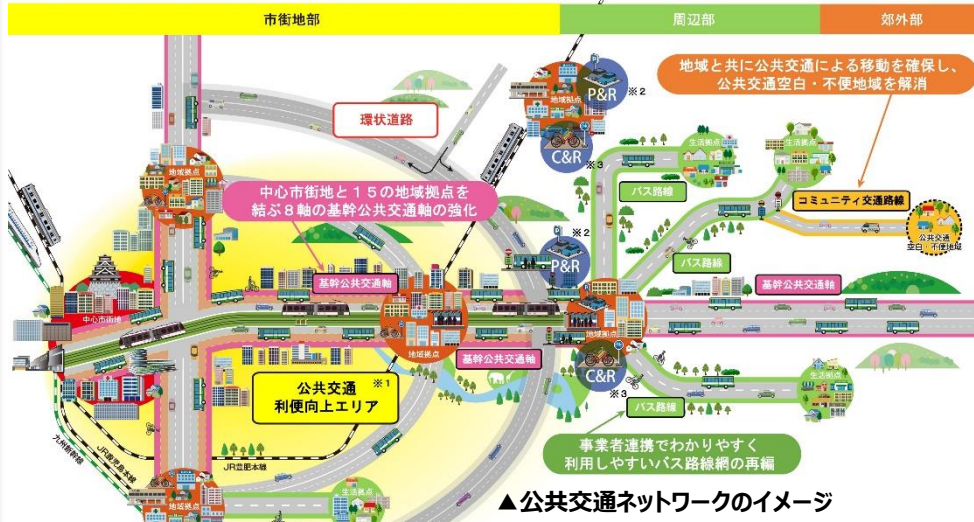
2. 取組の全体像

基幹公共交通軸の強化

- 熊本市中心部と各方面の地域拠点等を結ぶ8軸を基幹公共交通軸に設定
- 各軸の公共交通機関の特性に応じた機能強化等を図る
- また、各軸上には乗換拠点を設定し、各交通モード間の連携強化や結節強化等を図る

公共交通の利用促進

- 持続可能な地域公共交通網の形成にあたっては、地域社会全体で支えていく環境の構築が重要
- 公共交通の利用環境の改善や住民等への意識啓発を通じて利用促進を図る



3. 今年度の取組

基幹公共交通軸の強化

■基幹公共交通軸の機能強化の取組として乗換拠点におけるパーク&ライド等を推進し、公共交通への転換を図る

- **現状**
 - ・JR・電鉄沿線の稼働率は高いものの、バス営業所等は低い
- **取組み**
 - ・既存施設の利用状況等を踏まえ、パーク&ライド等の施設拡充を検討
 - ・地域との協働による、市有地を活用したパーク&ライド等の社会実験を実施
 - ・パーク&ライドの利用促進に資する取組みを実施

パーク&ライドの実施状況 (R3.6末現在) →

乗り場の公共交通	駅・バス停名	稼働率
JR	ゆめタウン光の森	100%
	宇土駅東口	30%
電鉄	御代志駅	100%
	黒石駅	96%
	新須屋駅	100%
	北熊本駅	89%
バス	西部車庫	60%
	光の森産交	60%
	百花園ゴルフ場前	4%
	大津産交	0%
	中の瀬車庫	22%
	イオンモール熊本	54%

公共交通の利用促進

■MaaS等の新しいモビリティサービスの展開を見据え、AIやICT等の新技術の積極的な活用により、移動のシームレス化を図り、公共交通の利用を促進する

● **MaaS (Mobility as a Service) とは**

- 地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、**複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせ検索・予約・決済等を一括で行うサービス**
- 観光や医療等の目的地における**交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段**となるもの

● **重要な視点**

- **MaaSは目的ではなく、あくまでも手段**であり、このツールを活用して、地域特性に応じた従前からの**公共交通等の課題をいかに解決していくかが重要**である
- **認識を関係者同士が共有していくことが重要**であるため、**本年度「MaaS準備会等」を設立**

● **組織体制**

MaaS準備会等 事務局：熊本市交通政策課

目的

- 熊本版MaaS推進にむけて、情報共有や方向性の整理
- 新技術を積極的に受け入れる関係者間の機運の醸成
- 新たなサービスの検討や実証実験における関係者の調整

メンバー

- 行政 ●交通事業者 ●民間事業者 ●学識 など



熊本市公共交通協議会

委員：学識、市議、交通事業者、経済界、福祉、環境、教育、マスコミ、一般公募、行政 など

事務局：熊本市交通政策課

基幹交通・利用促進部会

バス路線再編

コミュニティ部会